

モニタリングレポート(令和7年度)			
施設名	ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿市文化会館)		
施設所在地	鈴鹿市飯野寺家町810		
指定管理者	鈴鹿アートライフデザイン 【代表構成員】 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 【構 成 員】 国際ライフパートナー株式会社 【構 成 員】 近鉄ファシリティーズ株式会社		
施設担当課	文化振興課	問合せ先	059-382-7619
モニタリングの実施方針・方法等	施設の管理運営状況については、日報、月次報告書、年次事業報告書、年度事業報告書、定期的な現地調査、指定管理者へのヒアリング等により確認した。		

1 運営状況

1-1 施設の運営状況

項目	計画値	実績値	計画比
開館日数	306日	306日	0日
開館時間	3,978時間	3,978時間	0時間
利用者数	110,000人	140,007人	30,007人
事業参加者数	22,417人	20,897人	▲1,520人
平均利用者数(/日)	457.5人	施設稼働率	34.6%

1-2 目標の達成状況の推移

1. 施設稼働率の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
目標値(%)	36	38	40	42	44
実績値(%)	25.7	34.6	-	-	-
差	▲ 10.3	▲ 3.4	-	-	-

2. 施設利用者数の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	合計
目標値(人)	110,000	110,000	115,000	120,000	125,000	580,000
実績値(人)	72,273	140,007	-	-	-	-
差	▲ 37,727	30,007	-	-	-	-

【運営状況に関するコメント】

令和7年度の年間利用者数は目標を上回り、施設稼働率についても前年度と比較して増加した。一方で、事業参加者数が目標を下回ったため、今後の事業企画および集客についての取り組みが求められる。

2 事業収支

2-1 指定管理料に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
指定管理料	104,614,000	104,614,000	0
利用料金	24,000,000	24,447,000	447,000
企画提案事業収入(自主事業を除く)	6,310,000	5,141,343	▲ 1,168,657
その他収入	970,000	1,352,882	382,882
収入計	135,894,000	135,555,225	▲ 338,775
人件費	60,570,000	60,570,000	0
旅費交通費	100,000	107,033	7,033
通信運搬費	400,000	640,026	240,026
受信料	100,000	20,936	▲ 79,064
消耗品費	1,200,000	797,827	▲ 402,173
備品費	100,000	527,854	427,854
印刷製本費	500,000	470,987	▲ 29,013
燃料費	200,000	0	▲ 200,000
光熱水費	19,590,000	17,157,181	▲ 2,432,819
賃借料	1,100,000	1,273,932	173,932
手数料	200,000	1,109,481	909,481
保険料	300,000	394,960	94,960
委託料	29,346,000	28,309,768	▲ 1,036,232
本部管理費	100,000	46,000	▲ 54,000
企画提案事業	13,400,000	10,495,196	▲ 2,904,804
受託事業	4,000,000	4,747,837	747,837
広告宣伝費	4,470,000	3,658,482	▲ 811,518
その他支出	218,000	296,260	78,260
支出計	135,894,000	130,623,760	▲ 5,270,240
収支	0	4,931,465	4,931,465

2-2 自主事業収入に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
自主事業収入	100,000	26,763	▲ 73,237
収入計	100,000	26,763	▲ 73,237
自主事業経費	400,000	209,110	▲ 190,890
支出計	400,000	209,110	▲ 190,890
収支	▲ 300,000	▲ 182,347	117,653

2-3 使用料実績

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
実績額	—	—	—

【事業収支に関するコメント】

令和7年度収入合計は計画値を下回ったものの、必要な経費を計画的に執行したことで、年度末には収支が適正な水準に収まった。

3 業務内容

3-1 協定書、仕様書、事業計画書に定める業務の履行状況

評価項目	評価	所見
公の施設の管理者としての理解、姿勢：良・可・否の3段階で評価		
公民連携に対する理解と姿勢	良	公共施設運営の責任を理解し、市と連携しながら適正な管理を実施している。利用者目線のサービスも評価できる。
施設に対する理解	良	
コンプライアンス、環境配慮に対する意識、理解	良	
業務の履行確認：可・否の2段階で評価		
施設運営の状況		
管理運営の実施体制	良	管理運営体制は適切に整備されており、人員配置・書類管理・出納管理も問題がない。苦情・トラブル対応も迅速で大きな支障はない。
施設運営の実績	良	
施設の使用に関する業務の状況	良	
苦情・トラブルへの対応	良	
施設の維持管理状況		
保守・点検・各種設備等の管理業務	良	保守・点検や修繕は計画通り実施され、設備の安全性が確保されている。清掃や備品管理も丁寧で、利用者が快適に過ごせる環境が維持されている。全体として維持管理体制は良好である。
清掃、植栽等及び廃棄物処理の状況	良	
備品の管理状況	良	
修繕の状況	良	
事業の実施状況		
指定業務内の事業の実施状況	良	指定業務や企画提案事業は計画に沿い適切に実施され、利用者アンケートでも高評価を得ている。事業全体の参加者数は計画を下回ったが、運営は円滑であった。
企画提案事業の実施状況	良	
自主事業の実施状況	良	
サービスの質的評価：良・可・否の3段階で評価		
サービスレベルの評価		
施設サービス全般（接遇、情報提供、周知）	良	接遇や情報提供が丁寧で利用者から高評価を得ており、維持管理や運営業務も計画通り実施されている。全体としてサービスレベルは高く、安心して利用できる施設運営が維持されている。
維持管理業務	良	
運営業務	良	
事業内容の評価		
指定業務内の事業	良	指定業務や企画提案事業は順調に実施され、参加者数やアンケート評価も高い。一方、集客面に課題が見られるため今後の工夫が期待される。
企画提案事業	良	
自主事業	良	
業務遂行能力の評価：良・可・否の3段階で評価		
指定管理業務に関する収支状況	良	指定管理業務収支において、適切な支出管理が行われており、指定管理者本体の財務も健全である。
指定管理者本体の財務状況	良	
その他の事項に対する評価：良・可・否の3段階で評価		
緊急時の対応評価	良	緊急時においてもマニュアルに基づき適切に対応が行われており、安心して利用できる体制が整っている。

【業務内容に対するコメント】

年間を通じた安定稼働のもと、接遇、情報提供、安全管理、維持管理の各業務が適切に実施された。運営業務においては利用者の関心を高める取組が見られ、全体として質の高い管理運営が実現されている。

4 総合コメント

【公の施設の管理者としての理解、姿勢】

指定管理者は公共施設の意義を十分理解し、市民目線を重視した運営を徹底している。協定書に基づく管理責任を果たしつつ、地域文化の発展にも積極的に寄与しており、市との連携も円滑である。

【設置目的達成に資する取組としての的確性、独創性】

企画提案事業を中心に多様な文化事業を展開し、市民の文化活動への参加意欲を高めた。事業内容は地域ニーズを的確に捉え、独創的な企画で新規利用者の獲得にも寄与している。

【適切な業務遂行のための体制、規律の整備と実行性】

適切な業務遂行のため、運営マニュアルに基づく体制整備、職員研修の実施、定期会議による課題共有・改善を行い、業務規律の徹底と実効性の確保に努めている。

【経済性】

利用料収入の増加や光熱水費等のコスト削減に努め、適正な収支状況を維持した。一方で、企画提案事業及び自主事業の収入・参加者数が計画を下回った点については、今後の収益性向上および集客強化に向けた工夫が期待される。

【業務遂行能力】

年間を通じて、貸館業務・維持管理・文化事業の全般を円滑に遂行した。指定管理者本体の財務状況も良好であり、安定した組織基盤のもとで質の高い業務が提供されている。

【指定管理者に対する総合コメント】

令和7年度の指定管理業務は、貸館業務・施設維持管理・文化事業の全般において計画に基づき適正かつ円滑に実施された。年間を通じた安定運営と積極的な集客努力により、施設利用の活性化と健全な財務運営を両立させており、公の施設の管理者として高く評価できる。

5 施設の課題と対策

丁寧な接遇や行き届いた情報提供により高い利用者満足度を維持しており、光熱水費等の経費節減にも積極的な取り組みが見られる。一方で、施設稼働率や自主事業・企画提案事業の収入面においては計画値に届いていない。今後は、平日・夜間の貸館利用の更なる促進を図るとともに、参加者のニーズを捉えた魅力ある自主事業の企画や効果的な広報活動を展開し、稼働率の向上と収益性の確保を目指すことが課題である。

6 施設の方針性

ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿は、市民の創造・交流・発表の拠点として、より多様な世代・団体に親しまれる施設であることが求められる。今後は、貸館利用の促進に加え、地域の文化資源を活用した特色ある企画事業の展開を図り、来館者の増加と収益向上を目指すべきである。また、舞台管理等の日常的な維持管理においても、引き続き安全・快適な環境の提供に努める必要がある。